



絆（きずな）

目指す児童像

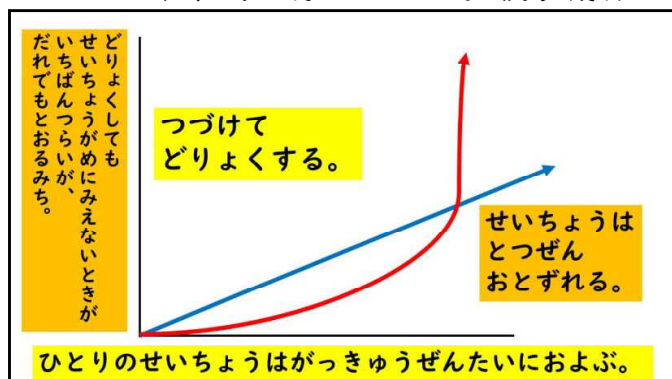
- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

努力を継続することにより、加速度的に成長する

～3学期始業式の校長講話より～

保護者の皆様、河野地区の皆様、あけましておめでとうございます。本年も河野小学校へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、1月10日から3学期が始まりました。寒さとコロナ感染予防を考慮し、オンラインで始業式を行いました。校長講話で努力曲線と成長曲線について話しました。



自分が立てた目標を達成するためには、続けて努力しなければならないのですが、努力した分だけ目に見えて成長が表れるわけではありません。どんなことでも、努力してもなかなか目に見えた成果を感じないことが多いのです。めげそうになるつらい時期がだれにでもあります。

しかし、目に見えない成長が訪れなくても、内の方で力が蓄えられていきます。そして、ある時にいきよに目に見えて成果があらわれます。例えばさかあがり。練習を続けてもなかなかできるようにならなかったのに、ある時にできるようになる。それから後は日に日にうまくなっていきます。すると、壁を突破してできるようになる人が一人、また一人と増えていきます。今までに見てきた学級で、何回もこのようなこと



ことが起こりました。学級の中の一人の成長は学級全体に波及していくのです。

3学期は1学期、2学期で積み重ねた努力が目に見える成果となってあらわれる時期でもあります。努力を止めないことが大切です。先人はこれを継続は力なりと言いました。成果があらわれなくても、100回やる、100日続けるなど「100」を目安にして挑戦を続けて欲しいと思います。

このお話は「教師修業十年」という本の中に書いてあることが原典です。日々の実践を通して、努力と続けることの大切さを説いています。今まで多くの児童、生徒に話してきました。すべての児童の努力を支え、すべての児童が成長を実感できる3学期になるように指導してまいります。